

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)根本交流センターの施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)根本交流センターの使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業及び児童センター事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)=(R5年度実績)÷(R4年度実績) 小ホール:63.2%(平均値比107.3%=63.2%÷58.9%) 会議室1:38.4%(平均値比109.4%=38.4%÷35.1%) 会議室2:47.0%(平均値比109.0%=47.0%÷43.1%) 和室:32.8%(平均値比128.6%=32.8%÷25.5%) 実習室:24.1%(平均値比131.7%=24.1%÷18.3%) ※児童センター該当なし	5点	
		②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 【公民館】平均値比(124.1%)=利用人数(延べ46,168人)÷37,207人(上記②適用) 【児童センター】平均値比(113.7%)=利用人数(延べ15,850人)÷13,944人(上記②適用)	105%以上:5点	平均値比(%)=(R5年度実績)÷(R4年度実績) 【公民館】 大ホール室:16,202人(平均値比148.8%=16,202人÷10,889人) 小ホール室:15,075人(平均値比118.6%=15,075人÷12,712人) 会議室1:6,048人(平均値比130%=6,048人÷4,653人) 会議室2:4,852人(平均値比141.2%=4,852人÷3,437人) 和室:3,160人(平均値比157.4%=3,160人÷2,008人) 実習室:2,157人(平均値比158.5%=2,157人÷1,361人) 図書貸出:2,774人 【児童館】15,850人(平均値比113.6%=15,850人÷13,944人) 公民館:5点 児童館:5点 総合点:5点 ※点数の比率は[公民館1:児童館1]	5点	
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P470～486 【公民館】 ①交流センターまつり (1)ねもとふれあいフェスティバル【児童館まつり】(1,000人) (2)スマイルステージ(360人) ②「ジョイントコンサート」(150人) ③地域意識醸成事業 いも苗植え、芋草取り、根本っ子遊び広場、こども座禅会、川遊び、芋ほり、環境美化活動、子どもリース作り、昔あそび、歩こう・あそぼうウォーキング(全10回1,252人) ④連携事業 らくらく筋力アップ体操(10回308人) 【児童センター】※公民館事業含む ①乳幼児と保護者を対象とした事業(36回869人) ②児童を対象とした事業(99回1,180人) ③地域交流・多世代間交流事業(13回2,612人) ④中高生事業(24回86人) ⑤子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(35回301人)	仕様書以上:13点	【公民館】 ①小中高生による「ねもとボランティア」が主体的に事業に関わり、複合施設の特徴でもある幅広い世代の参加の実現につながっている。 ②地域団体との連携強化を図り、多世代交流事業を多く実施。子どもの健全育成に対する目的意識を持ち、地域への愛着形成のための取組みが行われている。 【児童センター】 ①仕様の回数以上のクラブを実施。親子が心身のスキンシップを図る事業を展開している。 ②他学年との交流、仲間作り、体力増進、地域行事への参加等、多岐にわたる活動を実施。 ③スポーツインストラクター(職員)による年間を通した一輪車・ダンスクラブの指導は、精神と身体の両方の発達を促した。 ④継続したボランティア活動が評価され教育長から表彰。年間を通して子どもの主体性を尊重し活躍できる場の提供と、子どもたちの力で地域活性化を推進する力を育んでいる。 公民館:13点 児童センター:13点(13.40点) 総合点:13点 ※点数の比率は[公民館1:児童センター1]	13点		
	(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P470～486 【公民館】 ①ギャラリーNEMOTO(延4,437人) ②まなびの扉:(1)虹色ハーモニー、(2)自力整体、(3)バランスボール(47回938人) ③認知症予防講座「認トレ」(9回77人)、健康麻雀(22回495人) ④オープンサークル(2回39人) ⑤ホタル観察会(33人) ⑥盆踊り練習(2回70人) ⑥根本フォーラム事業:(1)ねもと茶論、(2)初夏ウォーキング、(3)根本焼を学ぶ、(4)夙作り(4回53人) ⑦根本校区映画フォーラム(168人) ⑧ゴーヤの苗植え(3人) ⑨楽らく体操(10人) ⑩ミニコンサート(24人) ⑪歌の祭典(86人) ⑫認トレ教室(20人) ⑬認知症予防のための活動(56人) ⑭たじみこどもフェスタ(543人) ⑮VIVA!マナビバ!(111回508人) 【児童センター】※公民館事業含む ①乳幼児と保護者を対象とした事業(42回790人) ②児童を対象とした事業(3回38人) ③地域交流・多世代間交流(86回6,286人) ④中高生事業(17回268人) ⑤子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(13回9人)	期待以上:13点	【公民館】 ①「ねもと地域力」や「ねもとフォーラム実行委員会」などとの連携により、地域を学ぶ、地域を見つめる事業を実施されている。 ②健康サポート事業を継続的に実施し、幅広い年齢層にとって魅力的な講座の充実を図っている。 ③高齢者の生きがいや仲間づくり、健康の維持につながる講座を、新規あるいは他機関との連携で幅広く取り組んでいる。 【児童センター】 ①外部講師を招き、子どもの発達過程に合わせた様々なプログラムを実施。参加者同士の情報交換の場も設けている。 ②地域との連携力の強さを活かし、世代間交流事業に注力。子どもや保護者同士、地域・多世代の交流促進を図り、子どもの主体性を尊重した活躍の場を提供している(「ねもとあったかクリスマス会」「諏訪神社秋祭り」ほか)。 ③中学生一輪車OB会を発足。一輪車クラブを卒業した中学生が小学生と一緒に練習を重ね、ねもとふれあいフェスティバルで活動発表することができた。 公民館:13点 児童センター:13点(12.80点) 総合点:13点 ※点数の比率は[公民館1:児童センター1]	13点		
(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃 ②保守・点検 ③保安・警備 ④小規模修繕 ⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P487 ①施設内清掃(毎日) ②特別清掃(年2回)	適正(普通)2点	適正に実施されている。	10点		
				年次報告書P487 ①事業計画にある法定点検ほか必要な保守点検を実施。 ②業者による遊戯室床剥離ワックスを実施。	適正(普通)2点	適正に実施されている。			
				年次報告書P487 ①開館時間の巡回警備、機械警備業務(休館日を含む)を実施 ②防犯対策(安全確保)に係る体制と不審者への対処、乳幼児等の避難、要援助者の避難のあり方などについて職員間での情報共有を徹底。	適正(普通)2点	適正に実施されている。			
				年次報告書P488 有償修理 全10件 総額 481,630円	適正(普通)2点	適正に実施されている。			
				年次報告書P489 ①全職員がチェック表やマニュアルに従って日常点検や月次点検を実施。 ②点検等で確認された心配な箇所は、適宜修繕や予防対策を実施。	適正(普通)2点	適正に実施されている。			

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P490 市ファイリングシステムに沿って、ファイル基準表を作成し維持管理を徹底。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
			②環境への配慮			年次報告書P490 ①敷地内緑化 ②ロビー照明を控えめにするなど節電を実施(エネルギーのダイエツト) ③工作遊びは廃材を利用し、リサイクルを意識している ④食器や調理道具の消毒など良好な衛生環境維持の取組み	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			③バリアフリー			年次報告書P490 ①経年劣化で剥げてきた身障者用駐車場マークを張替え。 ②車椅子の毎月の定期点検、タイヤの空気点検を実施。 ③年齢性別を問わず集える施設として、利用者に対して公平に接することを意識した管理運営、事業実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④備品管理			年次報告書P490 ①経年劣化した備品の適正な更新。 ②利用者が使いやすいよう定位置での保管を徹底。 ③遊具・おもちゃ類を毎日点検し、安全な使用に努めている。 ④利用者のニーズに応える備品の交換、選定に努めている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑤個人情報保護			年次報告書P490 ①広報の写真掲載は講座申込み時に承諾を得たもののみ。 ②個人情報を含む書類等はキャビネット内で保管、処分はシュレッダーまたは三の倉センターへ持ち込み処理。 ③児童センター登録カード等子どもの個人情報は、最も強い危機意識をもって適切に管理。 ④主催イベント等のアンケートは、個人が特定できないよう設問に配慮。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点 事故等対応に不備あり:△1点	年次報告書P491 ①重大な事故なし。 ②けが等の事案が3件あり。指定管理者の加入する保険で対応。 (1)一輪車の練習中に転倒、右ひじを床に打ち、骨折。 (2)利用者がスピーカーを手で持った際、落下して足の小指にあたり骨折。 (3)遊戯室で児童がモップを使用中に防球ネットに引っ掛かり、擦り傷。	事故なし・対応に不備なし 0点	3件のけがについては事後のトラブルもなく、職員の初動により適切に対応されている。	0点	
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	31,401,355円÷支出34,394,298円＝91.3%	100%未満 3点	【参考】令和元年度101%、2年度94%、3年度97%、4年度94%	3点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P492～493 ①利用者向けのポケットWi-Fiを有償で貸与。 ②利用者が安心安全に施設を利用できるよう、壁面収納ステージや電子ピアノ移動台車の点検など安全対策の強化。 ③身障者用駐車場マークの張替え。	期待以上 9点	①Wi-Fi環境の整備を求める声に対して、ポケットWi-Fiの貸与を試行し、サービスの向上に努めた。 ②建設から11年が経過し、利用者からの安全面に対する声に応えることが徐々に増えると思われるため、速やかな対応に努められたい。	9点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし。	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P494 ①根本焼をテーマにした座学の実施や文化財をめぐる根本歴史散策など、地域文化の掘り起こしと世代間交流を目的とした事業の実施。 ②事業人生100年時代に備えた脳トレ、健康麻雀、市や県立多治見病院との連携による認知症予防講座を実施。認知症予防と高齢者の仲間づくりを目的に、他機関と連携を図りながら年間を通して開催。 ③これまで積み上げた児童館事業における地域活性化力の推進とボランティア意識の醸成(教育長からの表彰)。	期待以上 13点	①交流センターに関わる団体や関係者の地域を思う気持ちが、事業に表れている。交流センターだからできる根本らしい事業が取り組まれており、今後も多彩なテーマでの展開が期待される。 ②高齢化に対しても地域が高い関心を持っていることがうかがえる。あらゆる方策で健康寿命への取組みを試みて、地域住民の交流が益々盛んになるに寄与していこうとする姿勢が見られる。 ③他の児童館よりも強固な地域との連携力を活かし、世代間交流事業に注力している。小学生だけでなく、地域も含めた事業実施を、単館ではない複合館の強みを生かし積極的に推進している。	13点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし。	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし。	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし。	0点		
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下						合計86点
								全体的な評価 ①交流センターの第1号として11年が経過。当初は公民館と児童センターの境界を意識し、施設管理者も利用者もとまどいがあったが、様々な事業を行う中でその境目がなくなりつつある。少子高齢化の時代が求める新しいかたちとして、地域に定着してきている。 ②年齢性別を問わず幅広いまなびの場を設け、団体の支援、地域行事への参画、世代間交流事業の充実などが、地域への愛着や帰属意識の高まりに繋がっている。		極めて良好